

令和6年度 シラバス

教 科	農 業	学科・学年	生産科学科 第3学年	単位数	2単位
		教科書	農業機械（実教出版）		
科 目	農業機械	副教材	なし		
科目の目標	(1) 農業機械について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に着けるようにする。 (2) 農業機械に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 農業機械について特性を理解し、効率的な利用へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。				
評価の観点	知識・技術【知】	思考・判断・表現【思】	主体的に学習に取り組む態度【主】		
趣 旨	農業機械の操作、点検、整備に関する実験・実習などの学習活動を通して、農業機械の構造と機能や作業特性の相互関係について理解し、農業機械の正確で安全な取り扱いなどを、体系的・系統的に理解し身に付けている。	農業機械の利用の現状や農業機械化に伴う課題を発見し、農業機械化が農業生産に果たす意義と役割などを踏まえるとともに、環境への配慮や法令順守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づいて創造的に解決する力を養っている。	耕うん・整地実習、管理作業実習、収穫・調整実習などの実践的な学習活動を通して、トラクタと作業機の作業上の特性安全性について理解し、農業及び関連産業の振興や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養っている。		

学期	学習内容	学習活動・学習のねらい	評価の観点			評価規準	評価方法	
			知	思	主			
一 学 期	第1章 農業機械の役割	○意義と役割について、農業や関連産業での利用の可能性や課題との関連から捉える。 ○農業機械の利用に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に考察する。 ○農業機械の利用を理解し、農業各分野での利用の可能性と課題について考察する。 ○原動機の作動原理と構造・点検・整備の方法について、自ら学び取り組む。 ○原動機の構造と操作に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて考察する。 ○原動機の整備について自ら学び主体的に学習する。	○			・意義や役割について理解し、関連する技術を身に付けている。	小テスト	
					○		・意義や役割に関する課題を発見し、科学的根拠により創造的に解決できる。	ペーパーテスト
						○		・意義や役割について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組んでいる。
	第2章 原動機		○			○	・原動機に関する実習を通して、学習の意義や進め方について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ペーパーテスト
					○		・農業機械の構造や操作方法に関する課題を発見し安全な操作方法点検整備について考察する。	ワークシート
						○	・原動機の点検整備について理解したうえで、機能を維持出来る点検整備を行おうとする。	小テスト 実習
二 学 期	第3章 トラクタ	○			・トラクタの構造を理解し、必要な工具を使って点検整備ができる知識と技能を身に付けている。	ワークシート 小テスト 実習		
				○	・トラクタの正確な運転操作の原理を理解し、安全な運転に努めようと努力している。	ペーパーテスト		
				○	・トラクタの構造や仕組みを理解し、点検整備によって機能が維持できるように調査・検討し、行動しようとする。	実験実習 レポート		
三 学 期	第4章 作業機	○			・作業機の特質と基本操作について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	ワークシート 小テスト		
				○	・トラクタとのマッチングや接続の原理と基本操作に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。	実習 ペーパーテスト レポート		

